# 歯ろはろ～新聞

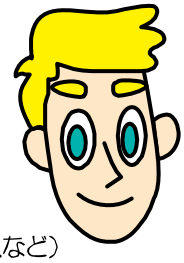
発行/ 多田歯科医院　〒７６０－００８０　高松市木太町７９２－６　☎８１５－２０１０
ホームページ　http://www.tadashika.jp/

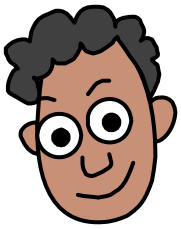
１年が経つのは本当にあっという間ですね。　12 月になりクリスマスイルミネーションが目を楽しませてくれる季節となりました。　デパートや大型スーパー、駅や空港など、大きなクリスマスツリーが色とりどりの光を放ち、明るく楽しく出迎えてくれます。　皆さんのご家庭でも「今年はどんなツリーにしようか？」とお話されているのではないでしょうか。　ところで、世界で初めて「クリスマスツリー」を飾ったのは、実は“パン職人”だったそうです。　それは 1419 年のこと、ドイツの都市フライブルグという街で、最初はもみの木にリンゴやナッツの実をつけたツリーだったそうです。　そしてクリスマスツリーはたちまち流行となり、ドイツ全土に広まったそうです。　その後、リンゴ以外にも色紙や紐など、いろいろな飾りが付けられるようになったのだそうです。　そして、当時のドイツの神学者で牧師のマルチン・ルターさんが、ツリーにロウソクを付け、あかりを灯すことを思いつきます。　すると、そのロウソクの炎はツリーを美しく幻想的にしてくれるため、皆がこぞって真似をしたそうです。　その後、このドイツでの流行が世界中に広まるまでに、時間はさほどかからなかったそうです。　例えば、イギリスではビクトリア女王が息子のためバッキンガム宮殿にクリスマスツリーを飾りました。　それを知ったイギリス国民も、我が子のためにと自宅にツリーを置くようになったそうです。　また、日本でも今から 152 年前の 1860 年に、ドイツの役人が大使館にツリー飾ったのが最初と言われています。　西洋文化を積極的に取り入れた明治時代の日本では、すぐにこの風習が受け入れられ、街でも家庭でもツリーが見られるようになったそうです。　時代と共にどんどん豪華に変わっていくクリスマスツリーですが、ツリーは大人も子どもも心がときめき、気持ちを豊かにさせる力があるような気がしませんか？　クリスマスツリーを見ては毎年楽しく、心弾む気持ちにさせられてしまいますよね。　今年１年、皆様には大変お世話になりました。2013 年も皆様にとって良いお年であります様、心よりお祈り申し上げます。

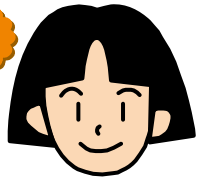
## あなたも“歯科通”になれる…!?
## 歯医者が出題する“歯とお口のクイズ”

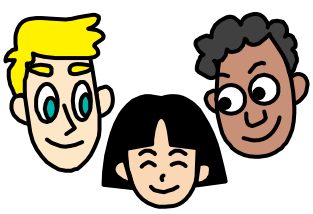
昨年の10月、世界人口が**“70億人”**に到達しましたよね。
ところで、人間は人種によって肌の色・髪の色・目の色などが違っています。　例えば、肌の色が白いのが**「白色人種」**、黒いのが**「黒色人種」**、そして、私たち日本人は**「黄色人種」**に当てはまります。
地球上には実に、体格・皮膚や毛髪の色が違う様々な人間が暮らしています。　さて、ここでこんな問題を出題！

**問題**　以下の人種の中で、一般的に“最も歯が大きい”のはどの人種でしょう？

1

白色人種
（ヨーロッパ人など）

2

黒色人種
（アフリカ人など）

3

黄色人種
（日本人など）

4

人種による違いはない